

雄勝地区

犯罪被害のない地域づくりへ

3月3日(月)、防犯協会雄勝支部から雄勝地区の各小中学校・保育所に、防犯用ネットランチャールが寄贈されました。

このネットランチャールは、スイッチを押すと網が飛び出し、侵入してきた不審者に絡まり動きを抑制します。その間に子ども達が避難する時間や警察に通報する時間を稼ぐことができます。

これがあれば万が一のとき心強い見方になると、先生方も子ども達も喜んでいました。



河北地区

みんな上手にできました！

3月7日(金)、ビッグバンを会場に「すこやか親子クッキング」が行われました。この行事は、市内在住の親子(子ども



もの年齢が1歳半〜5歳を対象に行われ、8組の親子が参加しました。栄養士の「楽しく食べる元気な子のお話の後、それぞれの親子が、子ども用の包丁などを上手に使って、ヘルスメイトの皆さんのアドバイスを受けながら、豚肉とキャベツの蒸し煮や3種類のおにぎりを作りました。特に、おにぎりは、用意されたさまざまな具を工夫して、それぞれ特徴のあるものができました。作った料理は、各テーブルに並べられ、笑顔いっぱいであいしくいただきました。

桃生地区

介助犬の賢さにびっくりに！

2月19日(火)、中津山第一小学校を会場に、「ガンバレ！介助犬！JA共済はたらくワンフランド」が、JAいしのまきおよびJA共済連宮城主催のもとに行われました。

これは、交通事故などで障がいを負った方の日常生活や社会復帰のお手伝いをする特別なトレーニングを積んだ介助犬について、広く知ってもらうための取り組みで、県内の小学校では初めての開催となります。

イベントでは、介助犬が主人公として絵本の読み聞かせやクイズ、介助犬の仕事を紹介するデモンスト



レシヨシなどが行われました。

河南地区

みんな大きくなりました

3月11日(火)、河南農村環境改善センターにおいて、スクエア子育て広場『おわかれ会』が開催されました。当日は、スクエア会員73組164人の親子とスタッフ25人が参加し、みなでこの1年の成長をお祝いしました。

また、今年も「みやぎわっこの会の佐藤恵美先生による親子ピクスが行われ、親子で触れ合いながら簡単な体操やリズム遊びを体験しました。お別れするのはちよびり寂しいけれど、笑顔がいっぱいの楽しい会となりました。





このコーナーでは、催し物やまちのできごと、地域の情報などを紹介します。

牡鹿地区

3月8日(土)、鮎川中学校体育館において、第61回卒業式が行われました。

今年度は、男3人、女12人、計15人が卒業を迎え、多くの思い出が詰まった学舎を巣立ちました。

先生や在校生、保護者らが見守る中、卒業生一人ひとりの名前が読み上げられ、卒業証書が授与されると、多くの卒業生が感慨深く、涙ぐんでいました。

また、式典後には、卒業生と在校生による記念合唱が行われ、体育館に中学校生活最後となる卒業生の

体育館に響く感動の歌

歌声が響きました。



北上地区

3月16日(日)、相川中学校で閉校記念式典が行われました。在校生や卒業生、地域住民約200人が出席し、地域とともに歩んできた60年の歴史に幕を降ろしました。

閉校が決まってから、母校の校歌を残そうと在校生と卒業生が協力して、CD作りの作業を行ってきました。懐かしい校舎に集まり、合同で合唱した校歌のCDは、地区の全世帯に記念誌と一緒に配布され、また、校庭には、「太平洋みちくる潮の玉と散る...」の校歌が刻まれた記念碑も建てられました。

相川中学校は、昭和22年に開校し、今

ありがとう！相川中学校！

年の卒業生を含めて、260人が巣立ち、4月から、北上中学校に統合されます。



石巻地区

2月24日(日)、石巻中央公民館において、「平成19年度子ども会大会」が行われました。市子ども会育成会石巻支部に加盟する子ども会が、一年間の活動を紹介する壁新聞を作り、子ども会の様子などを発表しました。

壁新聞は、夏休みに地区のお祭りに参加したことやインリター研修会などを題材に、写真を多く使い、インパクトのある紙面に仕上げられています。

各子ども会の代表が発表した後の質問コーナーでは、参加した子どもから、「とても楽しそうな活動をしているなあ」と思いました。「保護者の方からは「初め

子ども会行事を壁新聞で紹介

て参加しましたが、各子ども会はいろいろなイベントをしていて、来年度の参考にしたい」となどの感想が出されました。



人生を明るく楽しく、ゆっくりと

2月26日(火)、稲井公民館において、長生大学第9回学習会が開催され、稲井地区の60歳以上の方が参加しました。

講師に、人権擁護委員の佐々木まさえさんを迎え、「人生を明るく楽しく、ゆっくりと」をテーマに、若々しく年を重ねるための心構えなどの講話が行われました。

くなっていることにはふれ、高齢者虐待をなくすポイントについても、ユーモアを交え話されました。

